



# カレッジ情報2015

2015. 8. 4 (火) 8月号

発行: 秋田県生涯学習センター



## カレッジの講座で高校生が大活躍 ～まるごと大館!! (U5) に大館高生が多数参加～

大館の魅力を多角的に掘り起こす地域活性化支援講座・「まるごと大館!! ～ふるさとの旅～」が、7月18日(土)に最終日を迎えました。午前のU5「地域ぐるみでの子育てを考える」では、大館のみならず秋田県や国全体の課題でもある子育てについて、グループ毎に意見交換を行いました。この講座には、大館高校の生活科学科の生徒の皆さんに多数ご参加いただきました。



講師の濱田純秋田大学准教授(北秋田分校長)が『知りたい! 伝えたい! 世代間子育て講座』と名付けた本講座は、これから子育てを経験する世代(高校生)からの質問に、これまで子育てを経験してきた世代の



の方々が応えるというグループワークから始まりました。納得・疑問・反省・伝えたいことなどを付箋紙と模造紙でまとめ、後半にその模造紙を壁に張り出して、意見・体験を共有しました。「人生の先輩と一緒に話し合うことができ、ためになった」「現在の考え方と昔の考え方が違い驚いたが、親には感謝して生活していきたい」などの感想が寄せられました。

この場を借りて、「まるごと大館!!」に協力・参加してくださった皆様に、心から感謝を申し上げます。

## ～あい LOVE あきた (D6) では湯沢翔北高生が研究発表～

「あい LOVE あきた ～まるごと湯沢ジオパーク 大地と歴史の触れる旅II～」が7月25日(土)、湯沢市役所を会場に開催され、湯沢翔北高校商業クラブより「ミツチェリー」についての発表をしていただきました。

湯沢市は上の岱地熱発電所を擁する「地熱のまち」で、地熱を農業に活かしたハウス栽培や乾燥野菜の生産が盛ん



(ミツチェリーの試食風景)

です。同市の三関地区はサクランボの名産地ですが、同クラブでは「流通商品にならない規格外のサクランボ」



(商業クラブの発表風景)

に着目し、ドライフルーツとして商品化するとともに、“三関(ミツセキ)のサクランボ(チェリー)”から「ミツチェリー」と名付けて販売も行なってきました。地域資源を有効活用し、地域の活性化に結びつけようと挑戦している高校生のひたむきな姿に、受講者からは温かい拍手が送られていました。

カレッジ情報のバックナンバーは、秋田県生涯学習センターWebサイト <http://www.pref.akita.lg.jp/lifelong/> からダウンロードすることができます。

## あい LOVE あきた (D5) イスラム社会の栄光と悲惨

講師：日本赤十字秋田看護大学 非常勤講師 瀬田川 昌裕 氏



「イスラム過激派の寺院破壊や人質を取って身代金を取ったりあるいは捕虜を殺したりといった行動を、同じイスラム教徒の方々が『あれはイスラムではない』と言っている、完全に否定しているかということそうでもない。どこか違和感がある、そういませんか」という問いかけから講座は始まりました。「イスラム法の中に偶像禁止が書かれているから寺院を破壊するし、人質を取って身代金をとることも、捕虜を殺すことも書かれているのです。ですから、イスラム法をよく読んでいる信

者であればあるほど、彼らの行為を完全に否定できないんです」「イスラム法という『神の作った法』と民主主義という『人の作った法』とでは全くの異文化であり、理解は困難かもしれません。だからこそ、違いを知り、尊重し合うことが共存にののために大事なんです」との言葉はとても印象的でした。今回は概論でしたが、続きをもっと聞きたいとの声が多数寄せられました。

## 不思議!キノコゼミ (M1) 超入門 楽しいキノコ学

講師：秋田県林業研究研修センター 上席研究員 菅原 冬樹 氏



昨年度に引き続き菅原冬樹氏を講師にお迎えしての「キノコゼミ」が、7月10日(金)にスタートしました。講義の中で「キノコとは、生物学的には菌糸を主体とするカビの仲間です。菌糸が成長してもキノコ(子実体)を作らないものはそのままカビと呼ばれますが、カビの中でも肉眼で確認できる大きさの子実体を作るものはキノコと呼ばれています。では、どの菌糸がどのキノコに成長するか分かりますか?」と受講者に問いかけられる場面がありました。菌糸が入った5つのシャーレが提示されましたが、ど

んなキノコに成長するか、全く想像もできません。「これは松茸の香りだ」と香りをヒントに当てようとする方もいらっしゃいました。一番の驚きは「最近話題のオルニチンは、シジミよりもキノコの方が大量に含まれているので、お酒を飲んだ翌日はキノコを食べると二日酔い防止に効果があるでしょう」という言葉でした。奥が深いキノコの世界を、もっと勉強してみたくくなりました。

## 秋田市探訪vol.4 ～山王・八橋・寺内・川尻編～ (C1・C2・C3)

C1講師：秋田市教育委員会文化振興室 主任 大関 えりか 氏

C2(八橋編)・C3(川尻編)案内： 秋田市観光案内人のみなさん



最近何かと新聞で話題の「秋田市文化財マップ」、1回目はその文化財マップ作成担当者の大関えりか氏よりその作成経緯をお話しいただきました。2回目は八橋地区を、3回目は川尻地区を秋田市観光案内人の皆さんの案内で街歩きを行ないました。秋田市観光コンベンション協会が秋田市観光案内人の申込窓口になっています。家族やグループでも案内の申し込みができるそうですので、一度お電話してみてくださいはいかがでしょうか(018-824-8686)。